

### 第3章 防災啓発・教育活動

#### 1. 平成24年度 あいぼう会活動報告

あいぼう会事務局 森田匡俊

##### 1. 活動内容と年間スケジュール

2012年度は、これまでの目的である「企業の災害に対する被害の軽減、復旧の迅速化」を継続し、月1回（原則毎月第4金曜）、愛知工業大学本山キャンパスにおいて開催した。防災セミナー、講演会・講習会・勉強会、防災サロン・ワークショップ、見学会、東日本大震災被災地訪問を柱とした活動を積極的に行ない、災害に関する知識の修得、会員相互の交流、切磋琢磨をはかった。運営委員会および運営協議会を開催し、会の運営を審議しながら活動を行なった。以下に活動内容とスケジュールを示す。

日期	例会	運営委員会	防災セミナー	防災サロン・WS	講演会 講習会 勉強会	運営協議会	見学会	懇親会 新年会
4月25日	○				○			○
5月25日		○	○	○				
6月22日		○	○	○				
7月25日							○	
8月22日		○	○	○				
8月24-26日	東日本大震災被災地訪問							
9月21日		○	○*	○				
10月26日		○	○	○				
11月26日		○			○			
12月19日							○	
1月25日		○	○	○				○
2月22日					○	○		
3月27日		○	○	○				
合計回数	1	8	7	7	3	1	2	2

##### 2. 例会

2012年4月25日(水) 13:00～17:00

➤ 第1部：講演会 「東日本大震災について」

第1部では、あいぼう会会長（愛知工業大学正木和明教授）挨拶、愛知県防災局来賓挨拶に続いて、愛知工業大学客員教授の入倉孝次郎氏により「東日本大震災に学ぶこれからの日本の地震防災の方策」の講演が行なわれた。

➤ 第2部：2012年度総会

第2部では、あいぼう会会長挨拶に続き、2011年度活動・会計報告、2012年度活動方針・予算案、2012年度防災サロン・ワークショップ説明が行なわれた。防災サロン・ワークショップ説明では、第1WS：小池則満班長が「復旧・復興に向けて」、第2WS：落合鋭充班長が「災害リスク情報の企業

防災活用)、第3WS:内藤克己班長が「あいぼう会版 防災力検定」について説明した。最後に、内藤克己運営委員長より閉会の辞が述べられて、総会は終了した。

- 第3部:情報交換会「東日本大震災から1年、各社の対応について」

第3部では、早川澄男副運営委員長挨拶に続き、情報交換会「東日本大震災から1年、各社の対応について」を行った。最後に、小池則満事務局より閉会の辞が述べられて、2012年度あいぼう会例会は閉幕した。

### 3. 講演会・勉強会・講習会

- 2012年度講演会(通算第2回):2012年4月25日(水) 13:10~14:50  
講 師:入倉孝次郎氏(愛知工業大学客員教授)  
テーマ:東日本大震災に学ぶこれからの日本の地震防災の方策
- 2012年度講習会(通算第5回):2012年11月26日(月) 15:10~16:50  
講 師:村上義勝氏(日本製紙株式会社石巻工場)  
テーマ:日本製紙株式会社石巻工場 東日本大震災から復興への歩み
- 2012年度勉強会(通算第11回):2013年2月22日(金) 13:00~14:20  
講 師:金井道夫氏(新日鉄住金株式会社顧問、愛知工業大学および筑波大学客員教授)  
テーマ:基幹インフラを大地震から守る



写真1 第5回講習会ポスター

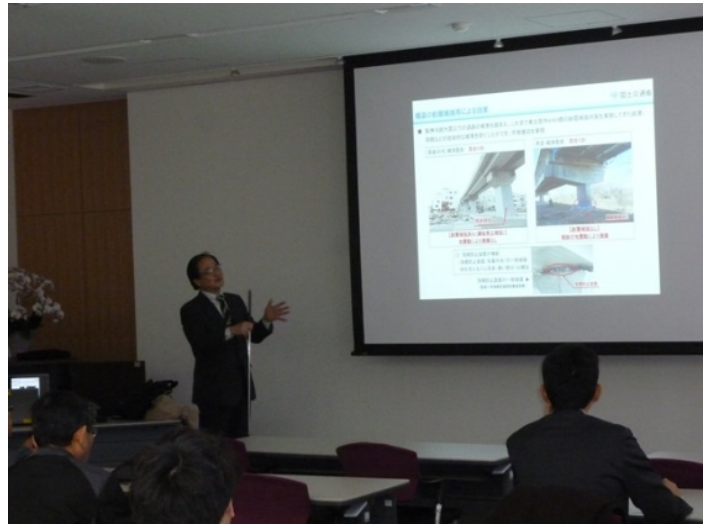


写真2 第11回勉強会

### 4. 見学会

- 2012年度第1回(通算第12回):2012年7月25日(水) 13:00~18:00  
中部電力浜岡原子力発電所を訪問し、地震・津波対策についての説明を聞いた。また、建設中の防波壁や中央制御室、加えて原子炉建屋内の見学も行った。
- 2012年度第2回(通算第12回):2012年12月19日(水) 13:00~16:00  
NEXCO 中日本一宮道路管制センターを訪問し、NEXCO 中日本の防災体制や今後の道路網整備計画などについての説明を聞いた。また、交通管制・施設管制ルームを見学した。



写真3 浜岡原発見学風景



写真4 NEXCO 中日本見学風景

## 5. 防災セミナー・東北訪問報告会

防災に関わる各分野の専門家に依頼して、東日本大震災や南海トラフの巨大地震に関連する防災トピックスについてのセミナーを開催した。

2012年度第1回（通算第7回）：2012年5月25日

講師：山本鋼志氏（名古屋大学教授）

テーマ：福島第一原発事故による放射性元素汚染

2012年度第2回（通算第8回）：2012年6月22日

講師：溝口孝之氏（一般社団法人中部電気保安協会）

テーマ：企業における、効果的な省エネ・節電対策

2012年度第3回（通算第9回）：2012年8月22日

講師：阪野武郎氏（名古屋市住宅都市局）

テーマ：名古屋市における陸前高田復興支援について

2012年度第4回（通算第10回）：2012年10月26日

講師：正木和明（愛知工業大学教授）

テーマ：南海トラフ巨大地震について

2012年度第5回（通算第11回）：2013年1月25日

講師：森田匡俊（愛知工業大学PD研究員）

テーマ：出勤・帰宅困難者対策サポートプロジェクトについて

2012年度第6回（通算第12回）：2013年3月27日

講師：建部謙治（愛知工業大学教授）

テーマ：東日本大震災における被害と緊急地震速報の利活用状況

東北訪問報告会：2012年9月21日

東日本大震災被災地訪問の報告会を防災セミナーに代えて開催した。視察した被災企業3社の震災対応について東北訪問参加会員が報告した。

①日本製紙石巻工場の震災対応について 佐々木務（中部鋼板株式会社）

②東北電子工業の震災対応について 大橋真人（愛三工業株式会社）

③東和工業株式会社の震災対応について 大島理喜男（KRC）

## 6. 防災サロン・ワークショップ

防災サロンは、東日本大震災からの「復旧・復興に向けて」というサブタイトルを設け、防災セミナーの講師の方を交えて意見交換会を実施した。第2WSは「災害リスク情報の企業防災活用」をテーマに、災害時のコンピュータシステムに関するアンケートや、AIT 防災情報ポータルサイト (<http://aibou.mapservice.jp/group.php?gid=10133>) の立ち上げに関する活動を実施した。第3WSは社員防災教育のための「防災力検定問題」システム構築に向けた活動を実施した。

- 2012年度第1回(通算第26回):2012年5月25日
- 2012年度第2回(通算第27回):2012年6月22日
- 2012年度第3回(通算第28回):2012年8月22日
- 2012年度第4回(通算第29回):2012年9月21日
- 2012年度第5回(通算第30回):2012年10月26日(中間発表会)
- 2012年度第6回(通算第31回):2013年1月25日
- 2012年度第7回(通算第32回):2013年2月22日(最終報告会)
- 2012年度第8回(通算第33回):2012年3月27日

## 7. 運営委員会

これまで通り、月に1回のペースで運営委員会を開催した。

- 2012年度第1回(通算第55回):2012年5月25日
- 2012年度第2回(通算第56回):2012年6月22日
- 2012年度第3回(通算第57回):2012年8月22日
- 2012年度第4回(通算第58回):2012年9月21日
- 2012年度第5回(通算第59回):2012年10月26日
- 2012年度第6回(通算第60回):2012年11月26日
- 2012年度第7回(通算第61回):2013年1月25日
- 2012年度第8回(通算第62回):2013年3月27日

## 8. 運営協議会

以下の専門委員、アドバイザーの方々に外部評価をお願いした。

2012年度運営協議会(通算第3回):2013年2月22日

専門委員		
一般社団法人中部経済連合会	社会基盤部	山田 茂
東邦ガス株	供給防災部 供給センター 供給防災課	河津 博史
中部電力株	発電本部土木建築部 建築グループ 課長	杉本 靖夫
名古屋商工会議所	産業振興部 モノづくり・新産業G	田中 利直
アドバイザー		
愛知県防災局	災害対策課 調整グループ 主査	大井 治
豊田市役所	社会部防災対策担当専門監	田口 厚志

## 9. 東日本大震災被災地訪問

会員 18 名が参加して東日本大震災被災地訪問を実施した。石巻市亀山市長、笹野副市長、斎藤課長はじめ市役所の方々、石巻専修大学坂田学長、相馬共創研究センター長、山本教授、尾形事務員、日本製紙株式会社石巻工場村上主任、東北電子工業株式会社佐藤会長、東和工業株式会社小笠原社長のご厚意により、石巻市役所における交流会、被災企業・被災地視察を行なうことができた。訪問スケジュール・活動内容は下記の通りである。

- 8月24日（金）：石巻市・石巻専修大学・被災企業との交流会  
あいぼう会の活動内容紹介の後、石巻市の被災状況説明、石巻専修大学、日本製紙㈱、東北電子工業㈱、東和工業㈱の各震災対応について発表していただき意見交換・質疑応答を行なった。
- 8月25日（土）：被災企業・被災地視察  
午前中に日本製紙石巻工場と東和工業を訪問し、震災時の様子や復旧・復興状況について視察した。午後から、石巻市の南浜町、湊町、渡波町、女川町、雄勝町、河北町（大川小学校）を視察し、最後に東北電子工業を訪問・視察した。
- 8月26日（日）：被災地視察  
野蒜駅、東松島、塩釜、仙台港、閑上地区の順に被災地を視察した。



写真5 石巻市役所にて



写真6 日本製紙石巻工場  
(右のモニュメントの高さが津波の高さ)



写真7 女川町



写真8 大川小学校

## 2. 社会人防災マイスター養成講座

講座責任者 正木和明

中部圏は日本のものづくりの中核地域であると同時に、東南海地震などの大地震が警戒されている地域でもある。社会人防災マイスター養成講座は、企業の防災担当者を主な対象に、非常時にリーダーとして活躍できる人材を養成して、企業や地域が不幸にして被災した場合でも速やかに活動を再開できるようにすることを目的としている。

愛知工業大学を中心として、連携校である名古屋工業大学、大同大学、豊田工業高等専門学校の教員が参加して平成 21 年 10 月に開講した。

本講座は 1 年間の課程として、半期 3 科目（年間 6 科目）を受講することとしている。各科目は 90 分授業を 15 回行うため、年間で 135 時間の授業を開講することになる。学校教育法に基づき 120 時間以上の授業を受講した履修生に文科省より「履修証明書」が交付される。

対象者を社会人としているため、授業は e ラーニングを中心として便宜を図るようにしているが、マイスターとして指導力を発揮するための問題解決能力、コミュニケーション能力を育成するため、各履修生は個人・グループの研究発表を最終授業で行うこととしている。また、授業のレベルは概ね学部上級生から大学院修士課程程度を目安としている。

### (1) 23 年度秋季履修生

平成 23 年 10 月からの秋季入学の履修生は 1 年間の特別研究の成果を、平成 24 年 7 月に、先生方、履修生の前で発表した。この際、過去の履修生も聴講に駆けつけてくれた。発表の後は修了生を囲んで懇親会が持たれた。修了生のネットワークの良さが示された。

No	学籍番号	名前	テーマ
1	G11551	小川 真護	消防団と震災対策
2	G11552	小保川 直樹	災害事例から学ぶ地域セフティーネットの構築
3	G11553	榛葉 陽紀	事業継続計画策定における手順と手法の検討
4	G11554	杉方 則義	防災運動会による建設会社の社会貢献
6	G11556	安田 裕三	地域における防災意識調査結果の活用
7	G11557	大橋 真人	BCP の策定
8	G11558	早川 邦夫	愛協産業の BCP 策定
9	G11559	加納 正章	義援金の有効活用
10	G11560	榎村 茂幸	私の考える人災災害と防災

### (2) 24 年度秋季履修生

平成 24 年 10 月 10 日に入学式を本山キャンパスで開催した。受講生は 9 名であり、内訳は、製造業（2 名）、電気機器業（1 名）、建設業（1 名）、不動産業（1 名）、行政書士（1 人）、サービス業（3 名）、である。平成 24 年度で半期が終了し、平成 25 年 7 月に卒業予定である。

平成 24 年度入学者に対する講義科目と担当教員を表 1 示す。現在までの新入生数を表 2 に示す。

表1 科目と担当教員

開講期	授業科目	担当教員
秋季	防災学概論	正木
	建築防災論	岡田、内藤（総合資格学院）
	防災リテラシー	倉橋（株エーアイシステムサービス）、 落合（株ファルコン）
春季	企業防災論	建部、渡辺（名古屋工業大学）
	地域防災論	小池、鷲見（大同大学）、 早川（あいち防災リーダー会）
	防災フィールドワーク	今井（Gフレクション株）
全期	特別研究	正木（コーディネーター）他 全教員

表2 履修生数

講座年度	履修生
21年度秋季	10人
22年度春季	10人
22年度秋季	9人
23年度秋季	10人
24年度秋季	9人



図1 平成24年度秋季募集用チラシ



写真1 平成24年度秋季履修生講義（地域防災論）

### 3. 緊急地震速報を活用した「第7回防災訓練」の実施

センター長 正木和明

愛知工業大学は全国の大学に先駆けて平成18(2006)年度から緊急地震速報を導入している。そのきっかけは、愛知工業大学地域防災研究センターが地域の事業所・企業に対し緊急地震速報を配信する研究を開始したことによる。企業に配信するに当たり、まず本学に導入し、活用の有効性の検証を試みた結果であった。平成23年度は第7回目の防災訓練となる。

当初、大学キャンパスのみで実施されたが、その後、学園全体（中学、高校、専門学校）へと拡大され、参加者は当初の3,000人から5,500人へと増加している。このような大規模な訓練を学園全体で実施する例はあまりなく、地元の大学からも毎回多くの見学者に来ていただいている。

訓練は、東海・東南海連動型地震（M=8.5、震央距離140km）を想定し、猶予時間40秒、予想震度6弱と設定した。緊急地震速報受信と同時に緊急放送が自動的に起動し、サイレン（2回）の後「地震が来ます」の放送が繰り返される。学生は机の下に身を隠すなどの退避行動をとる。「揺れが収まりました」の放送で、避難広場への避難行動が開始される。避難広場では点呼による安否確認がなされ、避難者数が対策本部に報告される。

参加者数は、大学が3080人、専門学校が99人、高校が1,562人、中学が553人、合計5,294人であった。人数には学生、院生、教職員、厚生施設従業員をすべて含んでいる。

#### 平成24年度の特徴

24年度は、帰宅困難者を把握するために、八草キャンパスの参加学生に対してアンケート調査を実施した。訓練が開始される2時間目の授業時間に教員が学生にアンケート調査用紙を配布し、避難広場で回収する方法を取った。アンケート内容は①主たる通学手段（徒歩、自転車、バイク、車、バス、鉄道）と距離、②自宅に帰るか否かの判断、を聞くもので、無記名（学年、学科・専攻のみ記入）で実施した。回収枚数は2,447枚であった。

これらの結果、「大学に残る」と答えた学生は1,217名、参加学生の49.7%に上がった。これらのデータは非常食準備数の目安に利用される予定である。詳細は第2章、10節に述べてある。

表1 これまでの訓練の特徴

平成18年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練)
平成19年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練)
平成20年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練) ・バーコードリーダーでの避難広場人数確認
平成21年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練) ・バーコードリーダーでの避難広場人数確認 ・放水訓練(一部学生) ・消火器訓練(一部学生)
平成22年度	・負傷の搬送と救護の訓練(AED使用訓練) ・バーコードリーダーでの避難広場人数確認 ・放水訓練(一部学生) ・消火器訓練(一部学生) ・学生への訓練資料事前配布 ・逃げ遅れ者の救助袋訓練(一部学生) ・ヘリコプター離着陸
平成23年度	・豊田消防署との合同訓練 ・地域住民との合同訓練 ・情報伝達訓練
平成24年度	・在学生分布図作成 ・通学手段・距離調査 ・帰宅するか否かの調査

表2 年度ごとの参加者数

防災訓練 実施年月日	避難広場 避難者数(人)	学園全体の 避難者数(人)
平成18年12月14日(木)	3179	-
平成19年10月31日(水)	3166	-
平成20年12月11日(木)	3021	5278
平成21年10月29日(木)	3024	5178
平成22年10月26日(火)	3106	4974
平成23年10月26日(水)	3106	5534
平成24年10月24日(水)	3080	5294

表3 見学参加大学

大学名	大学名
豊田工業大学	大同学園
愛知学院大学	岐阜経済大学
名古屋工業大学	関東学院大学
愛知大学	名古屋大学
愛知淑徳大学	至学館大学
中部大学	愛知教育大学
星城大学	南山大学
藤田保健衛生大学	中西学園



帰宅困難者把握に関するアンケート（避難場所のサッカー場で回収します）

専攻( )、学年( )年

**【問1】**  
あなたの通学手段を選び、およその距離を書いてください。(1つ選択)  
徒歩 ( )km  
自転車 ( )km  
バイク ( )km  
車 ( )km  
バス 最寄りのバス停名( )  
鉄道 最寄りの駅名( )

**【問2】**  
あなたは災害時(交通機関がストップするような状況)に自宅に帰りますか？  
帰る  
帰らないで大学に残る

●参考資料● 徒歩帰宅可能な目安  
 ・0～10km :可能  
 ・10～20 km :やや困難  
 ・20km～ :困難

図1 アンケート用紙



写真1 見学者説明会の様子



写真2 見学者説明会使用パワーポイント



写真3 避難広場への移動



写真4 避難広場で学生の安否確認



写真5 AED 講習



写真6 放水訓練

#### 4. 本山キャンパス公開講座「愛知工業大学地域防災研究センター講座」の開催

正木和明

本山キャンパス公開講座の一環として毎年、春季（3回）、秋季（3回）、「愛知工業大学地域防災研究センター講座」を開催している。

1. 対象者は一般市民である（定員は60名）
2. 会場は、本学本山キャンパス（名古屋市千種区）である。
3. 受講料は、地域貢献講座として位置付けられているので無料である。
4. 講座内容は以下のとおりである。

##### ◎春季講座「私の出会った魅力的な地震学」

23年度秋季講座で東日本大震災についてお話しましたが、その後さまざまな論議がまだ継続しています。24年度春季講座も引き続き、最新情報を取り入れながら、3.11地震を考えてみたいと思います。

講師：正木和明 愛知工業大学地域防災研究センター長

期日 ① 2012年5月19日（土）10:30～12:00

「3.11地震のメカニズムを再度考える」

② 2012年6月16日（土）10:30～12:00

「3.11地震の被害を再度考える」

③ 2012年7月14日（土）10:30～12:00

「東海沖地震を再度考える」

##### ◎秋季講座「私の出会った魅力的な地震学」

自然災害、地球温暖化、放射線被害。人間は自然から独立して存在しない。自然の微々たる一瞬の存在でしかない。

今回は災害から離れ、想像を絶する自然について考えてみます。

講師：正木和明 愛知工業大学地域防災研究センター長

期日 ① 2012年10月13日（土）10:30～12:00

「宇宙開闢から地球誕生まで」

② 2012年11月10日（土）10:30～12:00

「地球誕生から人間出現まで」

③ 2012年12月8日（土）10:30～12:00

「想像を絶する地球規模の破壊と進化」

平成24年度春季講座4月開講!!  
洗練されたゆったりとした空間で学べる。

# オープンカレッジ

名古屋キャンパス公開講座

**3月4日(日) 自由ヶ丘 全日公開講座**

2014年春、春季公開講座(自由ヶ丘)を開催いたします。本講座は、本学が誇る最新の設備と、洗練された空間で学べる。洗練されたゆったりとした空間で学べる。

**地域防災研究センター講座** 受講料 無料

●私の出会った魅力的な地震学  
2014年度春季講座で東日本大震災についてお話ししましたが、その後も引き続き地震学が注目されています。24年度春季7月19日、20日、21日の3日間、311地震を再考したいと思います。

【講師】愛知工業大学地域防災研究センター長 正木 和明  
【開講日】10月13日(土)  
3月11地震のメカニズムを再考する  
10月14日(日)  
3月11地震の被害を再考する  
【開講時間】10:30~12:00 会場:本山キャンパス

**CSR「環境・食料確保への取り組み」**  
CSR(Corporate Social Responsibility)とは、「企業の本業の発展」だけでなく、「社会・環境・人権」の3つの側面から企業活動の持続可能性を高めること、つまり「社会に貢献すること」を指します。

【講師】愛知工業大学経営学専攻教授 石井 正典  
【開講日】10月15日(月) 会場:「オープンカレッジ」401号室  
【開講時間】18:20~17:50 受講料:3,000円(税別) 会場:自由ヶ丘キャンパス

**「人と町の地域学」講座**

●暮らしのような名古屋で連句の話  
連句、俳句、和歌は、日本の文化の根幹をなしている。連句は、和歌の一種で、5音、7音、5音の3拍子で構成されている。名古屋で暮らしながら、連句を通じて、名古屋の文化を学びたい。名古屋で暮らしながら、連句を通じて、名古屋の文化を学びたい。

【講師】名古屋大学文学部教授 藤田 誠  
【開講日】10月16日(火) 会場:「オープンカレッジ」401号室  
【開講時間】10:20~11:50 受講料:3,000円(税別) 会場:本山キャンパス

**名古屋商人伝-伊藤萬藏**  
名古屋で「伊藤萬藏」の名を知られる方はいらっしゃいますか? 伊藤萬藏は、名古屋の歴史を語る上で欠かせない人物です。伊藤萬藏の活躍の場、名古屋の歴史を語る上で欠かせない人物です。伊藤萬藏の活躍の場、名古屋の歴史を語る上で欠かせない人物です。

【講師】名古屋大学文学部教授 藤田 誠  
【開講日】10月17日(水) 会場:「オープンカレッジ」401号室  
【開講時間】10:20~11:50 受講料:3,000円(税別) 会場:本山キャンパス

**パソコン講座(初級)** 受講料:5,000円(税別)

**受講料 無料** **地域防災研究センター講座**

●私の出会った魅力的な地震学

自然災害、地球温暖化、放射線被害。人間は自然から独立して存在しない。自然の微々たる一瞬の存在でしかない。今回は災害から離れ想像を絶する自然について考えてみます。

【講師】愛知工業大学 地域防災研究センター長 正木 和明

■開講日/①10月13日(土)  
「宇宙開闢から地球誕生まで」  
②11月10日(土)  
「地球誕生から人間出現まで」  
③12月 8日(土)  
「想像を絶する地球規模の破壊と進化」

■開講時間/10:30~12:00  
■会場/本山キャンパス

写真1 公開講座案内パンフレット(左:春季、右:秋季)

2012年5月19日  
愛知工業大学オープンカレッジ地域防災研究センター講座

## 3.11地震のメカニズムを再度考える




愛知工業大学地域防災研究センター  
教授:センター長 正木和明

津波を英語では? 飯田汲事名古屋大学・愛知工業大学教授

Tsunamiと言う

誰がTsunamiと言いましたか?と尋ねました。



私の恩師の飯田汲事先生から聞いた話:  
チリ津波-ハワイ大津波の講義-「皆さんがTsunami面白いと言うんだよ」  
PROF.Doak Cox が国際会議でつけた?

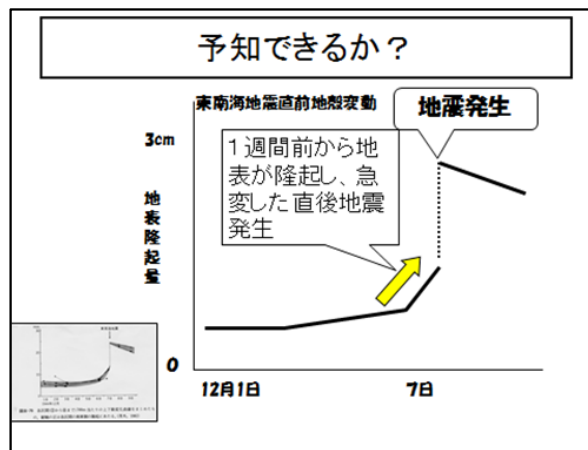
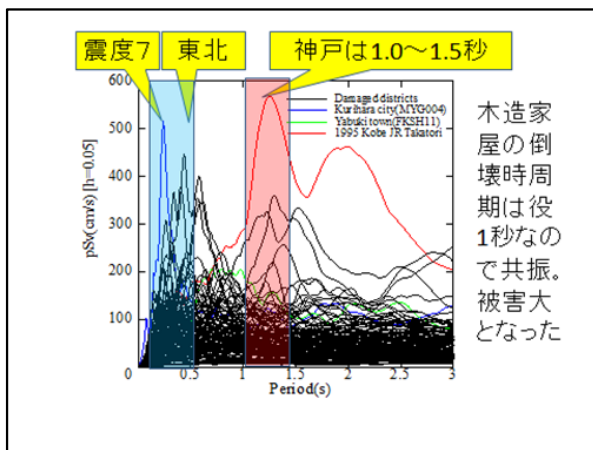


図1 講座使用パワーポイントの一部

## 5. 瀬戸消防出初式への出展

正木和明・奥川雅之・鳥居一平

2013年1月13日(日)、「瀬戸市パーティセと」において瀬戸市消防出初式が挙行政され、地域防災研究センターから、2つのブースを出展した。出展はこれまで恒例となっており、子供たちや市民への防災啓発運動として定着してきた。また、反応も年ごとに好評を博している。

鳥居教授と学生たちは昨年度に引き続き「紙芝居：いなむらの火」を出展した。昨年度は、紙芝居を見せ・語る催しであったが、今回は、PCを持ち込み、イラストレーターを用いて子供たちに紙芝居の原画を作成してもらうこととした。子供にイラストレーターの使い方を指導するために鳥居研究室の学生に手伝っていただいた。作成した原画はその場でプリントし子供たちに持ち帰ってもらった。

奥川准教授と学生たちは昨年度と同様、ロボットによる救出活動をイメージしたレスキューローラー操縦体験を子供たちにしてもらった。2m×2mの枠内に、災害による瓦礫を設置し、リモコンでローラーを操作しながら救出活動を展開し、目的地点に到達する操作を行ってもらった。昨年度も大人気であったが、今回も列をなす盛況であった。

今回も瀬戸消防署からの出展依頼がありこれに応じたものである。地域市民に本センターの活動をアピールする良い機会であると同時に、市民啓蒙活動としての成果も上がっている。



写真1 紙芝居を用いた津波教育



写真2 PCを使って紙芝居原画の作成



写真3 紙芝居のブースの様子



写真4 レスキューローラー操作

## 6. 第2回 巨大水災害シンポジウム in 愛知の開催

小池則満

### 「第2回 巨大水災害シンポジウム in 愛知 避難 そのあり方について考える」

東日本大震災をきっかけに避難のあり方が問われていることから、大学、企業、市民、教育支援の立場から広域的な避難やその際の自動車利用について考えることを目的として開催した。運営組織としては、地域防災研究センターと河川環境管理財団名古屋事務所による共催とした。

【日時】2012年12月13日（金）14:00～16:30

【場所】名古屋都市センター まちづくり広場 大研修室（ホール）

【基調講演】「津波による自動車の水没事故事例と対応」  
（石巻専修大学 教授 山本憲一）

#### 【パネルディスカッション】

- ・コーディネーター／愛知工業大学 教授 正木和明
- ・パネラー／愛知工業大学 准教授 小池則満  
／あいち防災リーダー会 海部ブロック事務局長 杉本正則  
／河川環境管理財団名古屋事務所長 平光文男  
／石巻専修大学 教授 山本憲一

#### 【当日の内容】

参加者数はスタッフを入れて総勢62名となり、盛会となった。参加者は、防災ボランティア、民間企業、行政機関、学生などであった。

石巻専修大学山本教授の基調講演では、自動車に乗っていて津波に流され、何らかの原因で水没を免れて救助された方の事例紹介をいただいた。その中で、浮動時間、脱出手段、我に返る転機、そして幸運の4つが、救助につながった事例の要因であると指摘されるとともに、これらを拡大するための取り組みが必要であることを述べられた。

パネルディスカッションでは、愛知工業大学の小池から、スーパー伊勢湾台風や事前広域避難の考え方について紹介し、こうした方法が日本で可能かどうか議論したいと、問題提起を行った。続いて、あいち防災リーダー会の杉本氏から、海拔ゼロメートル地帯が広がる海部地区の現状、ペットボトルによるいかなだ制作を通じた防災啓蒙活動について紹介された。最後に、河川環境管理財団の平光所長から、兵庫県で小学生対象に行った洪水に対する防災教育の試みを紹介された。ここでは、架空の街に対して大雨帰宅マップを作成し、地区の特徴把握や対策などについてまとめた例を示された。以上の話題提供、活動紹介に続いてパネルディスカッションが行われ、人口に対して避難場所が足りない場合の避難計画、自動車の水密性、カーナビなどによる災害情報提供の可能性等について議論がなされた。

参加者の意見を伺うため、二者択一方式でのアンケート調査を行った。「巨大台風が接近してきたときに、自動車（マイカー）での避難をしてもよいと思いますか？他の手段を用いるべきだと思いますか？」に対しては「自動車を使用してよい」62%「しないほうがよい」38%であった。「巨大台風が接近してきたときに、町外の浸水の心配の無い避難所まで逃げるのが、現実問題として、日本で可能だと思いますか？」に対しては、「できる」47%「できない」53%であった。災害には徒歩避難が原則とされてきたが、現実問題として自動車による避難は多くなされている。参加者の意見も拮抗しており、議論を深める必要がある。

**第2回 巨大水災害シンポジウム in 愛知**

**避難 そのあり方について考える**

**日時** 2012年12月13日（木）14:00～16:30（開場：13:30） **参加費 無料**  
（申込料、定員120名）

**場所** 名古屋都市センター まちづくり広場 大研修室  
（名古屋市中区金山一丁目1番1号金山ビル11階）

**プログラム**

14:10～15:10  
基調講演「津波による自動車の水没事故事例と対応」  
山本憲一氏（石巻専修大学 教授）

15:15～16:25  
パネルディスカッション「巨大水災害における避難と備えについて」  
・コーディネーター：正木和明（愛知工業大学 教授）  
・パネラー：小池則満（愛知工業大学 准教授）  
杉本正則（あいち防災リーダー会 海部ブロック事務局長）  
平光文男（河川環境管理財団 名古屋事務所所長）  
山本憲一（石巻専修大学 教授）

申込みおよび問合せ  
参加ご希望の方は、住所、氏名、会社名、電話番号、メールアドレスをメールまたはFAXでご連絡ください。  
申込期間：12月7日 先着順のため定員に達し次第受付終了。  
愛知工業大学地域防災研究センター  
メール：dprec@aitech.ac.jp FAX:0565-43-3865

共催：愛知工業大学地域防災研究センター  
河川環境管理財団名古屋事務所

AIT 愛知工業大学 PREC

## 7. 愛工大テクノフェア出展

正木和明

平成24年(2012年)12月7日10時～15時、名古屋電気学園100周年記念「愛工大テクノフェア」が開催された(主催:愛知工業大学)。本センターと㈱エーアイシステムサービスが共同で技術シーズブースに出展した(写真1)。出展時間の合間には、本センターへのツアーも企画された。参加者は、学外から181名、学内から450名(内学生413名)、高校生40名、展示説明者144名、合計778名であった。

テクノフェアを機に「愛知工業大学技術シーズ・タイトル集」も発刊された(<http://so-ken.aitech.ac.jp/san-gaku/techseeds/index.html>)。本センターから2件、「新しい防災対応手法確立のための調査研究(小池則満)」と「緊急地震速報配信システム(正木和明)」が登録されている。

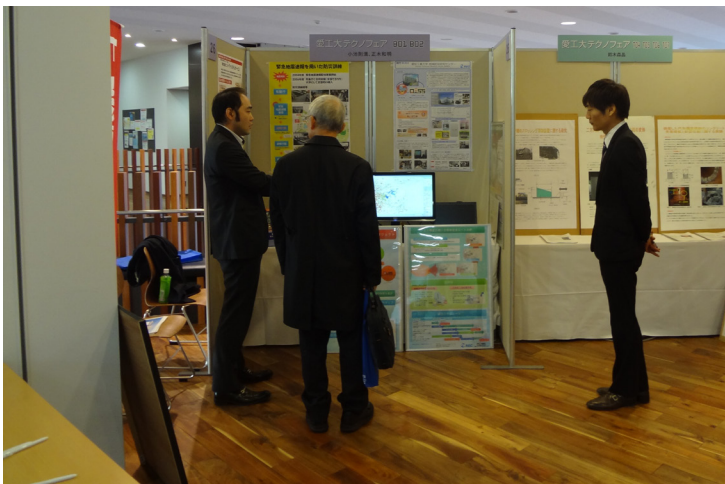


写真1 ブース発表



図1 テクノフェアチラシ

シーズ番号 B01

**AIT愛知工業大学**

### 新しい防災対応手法確立のための調査研究

工学部・都市環境学科・准教授・小池則満  
koike123@aitech.ac.jp

キーワード 防災計画、緊急地震速報、事業継続計画

#### 概要

新しい防災技術や計画手法を実社会へどのように展開し活用していけば良いのか、様々な手法を用いて調査・研究しています。

テーマ1: 災害時の傷病者搬送システムに関する研究

震災や水害、大事故が発生してしまったときに傷病者を搬送するシステムについて研究しています。最近では、特にヘリコプターを活用する防災計画について力を入れています。災害医療と都市・防災計画を結ぶ領域の研究です。



テーマ2: リアルタイム災害情報システムに関する研究

地震が来る数秒から数十秒前に警報を発する緊急地震速報の運用が開始されましたが、その情報を最大限に活かすための方法が問われています。特に学校や民間企業におけるリアルタイム災害情報システムの有効活用方法について研究しています。

テーマ3: 事業継続計画(BCP)に関する研究

災害が発生した際に、組織(企業や行政等)が素早く立ち上がり、主要業務を継続するための事業継続計画についての研究や勉強会(あいぼう会)を行っています。

#### セールスポイント

- アンケート調査やヒアリング等を行い、新技術の社会的有用性や受け入れのための環境を整えるためにはどのようにしたらよいか、評価することを目指しています。
- たとえば緊急地震速報であれば、数秒から数十秒という猶予時間をどのように活用すべきか明らかにすることが、普及のための重要なアプローチになります。
- 様々な防災システムを研究対象にしたいと考えておりますので、ご相談下さい。

#### 用途および展望

- 有用な技術や仕組み、あるいは社会基盤施設が社会の理解を得られずに活用されない事態を少しでも減らしたいと考えています。

#### 参考資料

研究室ホームページ <http://aitech.ac.jp/~i-p/index.html> (論文リストもこちら)

シーズ番号 B02

**AIT愛知工業大学**

### 緊急地震速報配信システム

工学部・都市環境学科・教授・地域防災研究センター長・正木和明  
masaki@aitech.ac.jp

キーワード 地震防災、緊急地震速報、企業地震対策、BCP

#### 概要

地域防災研究センターは気象庁緊急地震速報速を東海地域の企業に配信し地震対策に活用してもらう研究を実施している。地震発生5秒後(平均)、「震源、マグニチュード、発生時間」が速報としてセンターに配信される。センターは即時にインターネット専用回線を利用して企業(本社、工場、営業所等)に設置した専用端末に情報を2次配信する。端末は、企業立地地点における、震度と猶予時間を計算する。企業は、ある震度以上の強震が予想された場合には、従業員避難、機械の停止、バルブの遮断、エレベータ停止等の緊急地震対策を実施する。大きな揺れが到達する前に既に対策は実施済みであり被害の軽減が図られる。



#### セールスポイント

- TV、携帯と異なり、事業所チャストポイントでの正確な震度と猶予時間を予測できる。
- 問題は活用方法である。東海地域の企業での実績(約80事業所)とノウハウを持つ。
- 配信先:東海理化㈱、豊田合成㈱、愛三工業㈱、アスモ㈱、中部鋼鉄㈱、名工大他

#### 用途および展望

- 疑似速報配信により避難訓練に利用できる。
- 社員の命を守る。事業継続計画の有効な手段。
- 本学発ベンチャー1号の㈱エーアイシステムサービスが配信事業を受け持つ。

#### 参考資料

地域防災研究センターURL <http://dprec.aitech.ac.jp/center/>  
㈱エーアイシステムサービスURL <http://ai-ss.jp/>

## 8. 企業防災緊急セミナーの開催

正木和明

下記の日程で名古屋電気学園創立 100 周年「企業防災緊急セミナー」を開催した。

日時：平成 24 年 11 月 16 日、12 月 11 日

場所：愛知工業大学本山キャンパス

時間：13:00～16:35

プログラム：

主旨説明 建築学科 尾形素臣教授

挨拶 総合技術研究所長 澤木宣彦教授

講演 「東南海地震の想定される規模と被害」 都市環境学科 正木和明教授

「地震に対する建築物の対策と費用」 建築学科 尾形素臣教授

「東日本大震災において事業継続計画（BCP）が果たした役割と課題」

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 青地忠浩氏

開催案内は、愛名会（本学を後援する会社企業の組織）会員に対しダイレクトメールを郵送した。本セミナーは当初 11 月 16 日の 1 回のみを予定していたが、聴講希望者が多く、12 月 11 日に同じ内容で第 2 回セミナーを追加開催した。参加申込者（企業）は、第 1 回（65 名）、第 2 回（57 名）であった。参加者が多かった理由は、被害予測、耐震補強の経費、BCP 作成方法等、企業にとって欲しい情報がテーマ挙げられたことが考えられる。



写真 1 正木教授による南海トラフの地震説明



写真 2 尾形教授による耐震補強説明

## 9. 地域防災研究センター見学会

平成24年度は 776名の方に地域防災研究センターを見学いただいた（これまで累計 8,186人）。主に、高校生や保護者、消防クラブ等の市民の方が見学・講義・防災体験を通して防災について学びました。



写真1 緊急地震速報システムについて質問する見学者（揚州大学の視察団）



写真2 揺れについて学ぶ 婦人消防クラブの方々



## 10. 地域防災研究センター情報配信の強化

落合鋭充

本年度では、地域防災研究センター（以下、本センター）からのイベントや防災情報配信の強化を図るため、本センター専用の「Facebook」及び WebGIS と連携した「AIT 防災情報ポータル（以下、AIT ポータルサイト）」を立ち上げた。

Facebook では、本センターのイベントや様々な防災情報の配信。また、本センター HP の更新情報や AIT ポータルサイトの更新情報を配信することで、それぞれの WEB ページへ誘導し、より多くの方へ情報を配信出来るよう構築した。

AIT ポータルサイトでは、地域住民や地域の企業をターゲットとし、住民や企業防災教育に役立つコンテンツの整備を目的とし、構築した。

また、WebGIS と連携することで、視覚的に分かりやすいハザード情報を提供するとともに、本センター独自情報を盛り込むことで、他のハザード情報との差別化を図る。

FaceBook ページ：<http://www.facebook.com/dprec.aitech>

AIT 防災情報ポータル：<http://aibou.mapservice.jp/group.php?gid=10133>



図1 フェイスブック画面



図2 AIT 防災情報ポータル画面

尚、現在までに以下のコンテンツ及びマップを公開している。

### 【コンテンツ】

- ・ イベントカレンダー
  - 防災に関わるイベント情報を配信
- ・ 防災コラム
  - 活断層や地震に関わるメカニズムなど、愛知工業大学の先生による防災コラムを配信
- ・ 帰宅支援
  - 災害時帰宅支援に関わる様々な情報を配信
- ・ 自宅、家族を守る
  - 自宅や家族を守るための地震に対する備えなどの情報を配信
- ・ メルマガアーカイブ
  - 緊急地震速報配信企業へ配信しているメールマガジンのアーカイブ

【マップ】

- ・防災関連情報マップ
- ・愛知県標高マップ
- ・「内閣府 南海トラフの巨大地震モデル検討会」発表データを基にしたハザードマップ
  - ・東海4県液化マップ
  - ・東海4県震度マップ
  - ・東海4県津波浸水深マップ
  - ・東海4県震度+液化+浸水深マップ (画像)
- ・18事業所・企業統計マップ

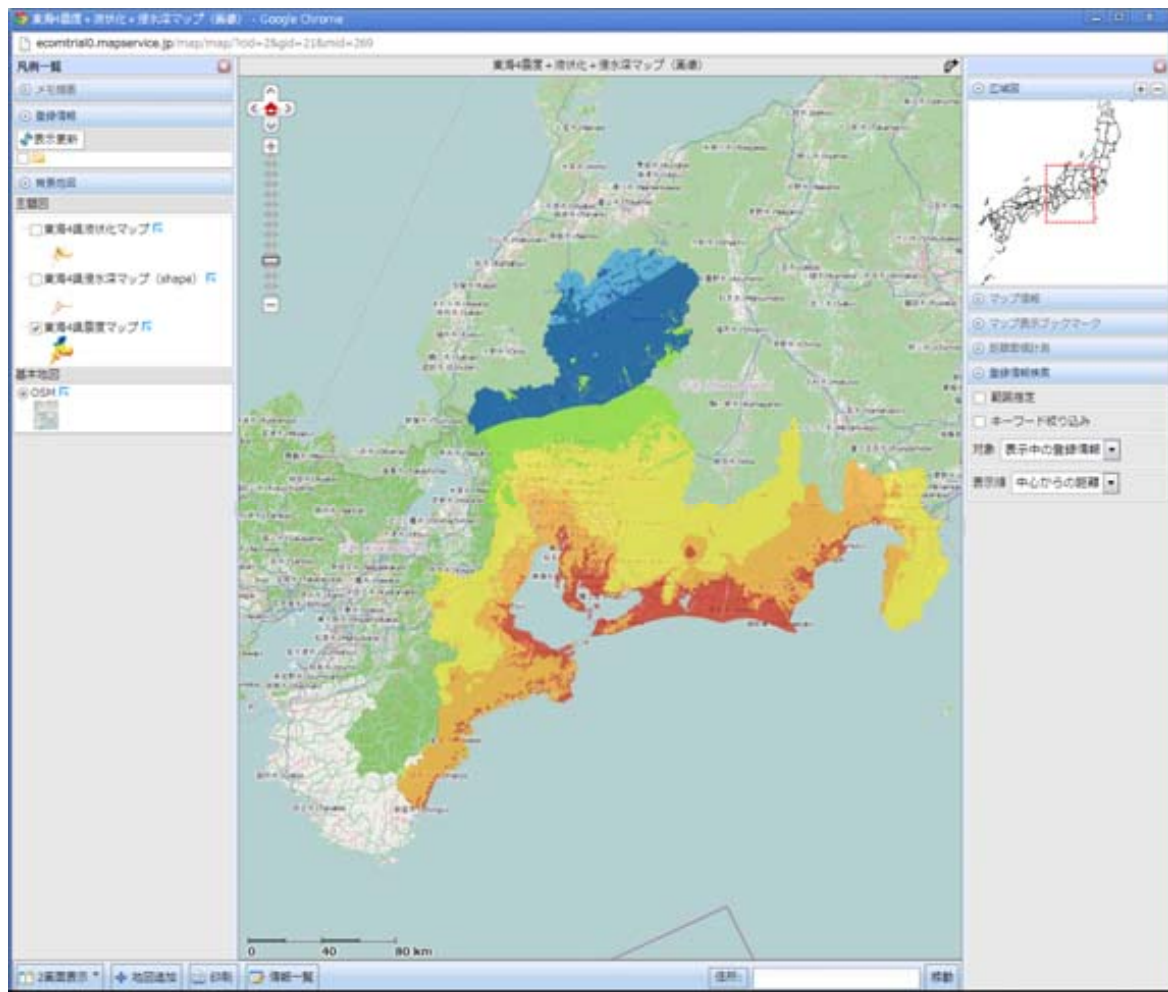


図3 マップ画面の1例

## 講演会等リスト

### 【正木和明】

- 第2回NPO法人あいち防災リーダー育成支援ネット通常総会講話「3.11地震の教訓、津波と液状化と・・・」, ウィルあいち, 2012年5月18日
- 愛知工業大学オープンカレッジ, 地域防災研究センター講座「3.11地震のメカニズムを再度考える」, 2012年5月19日, 「3.11地震の被害を再度考える」, 6月16日, 「東海沖地震を再度考える」, 7月14日
- 矢作川環境技術研究会「大地震対策、東日本大震災と南海トラフ地震」, ホテルキャッスルプラザ, 2012年6月5日
- 愛知郡民生委員児童委員連絡協議会解散総会「東日本大震災から学んだ教訓と南海トラフ巨大地震への対応」, サンプラザシーズンズ, 2012年6月29日
- 豊明市防災リーダー研修会「南海トラフの巨大地震で豊明はどうなるか」, 豊明市文化会館, 2012年6月30日
- 刈谷市公民館職員研修会「東海沖連動地震で刈谷はどうなるか?」, 刈谷市総合文化センター, 2012年7月30日
- 平成23年度教職員夏期(一般)研修「児童・生徒と教師のための防災教育～災害をどう教えるか～」, スカイワードあさひ, 2012年8月19日
- 瀬戸市校長研修会「教育現場における防災教育と防災対策」, 愛知工業大学地域防災研究センター, 2012年8月2日
- 高大連携プログラム「東日本大震災と南海トラフ地震」, 愛知工業大学, 2012年8月5日
- 協豊ボデー部品部会「企業防災力向上と社会貢献」, 愛知工業大学地域防災研究センター, 2012年8月7日
- 春日井市かすがい熟年大学(生活コース)「東日本大震災が東海地域で起こったら～南海トラフの巨大地震のシナリオ～」, 2012年8月8日
- 平成24年度東海市議会議員研修会「東日本大震災の教訓と南海トラフの巨大地震～東海市の地質と活断層は?～」, 東海市役所, 2012年8月9日
- 被災建築物応急危険度判定士講習会「地震に関する講演～南海トラフ地震を再度考える～」, 愛知県西三河総合庁舎, 2012年8月23日
- 長野県高等学校教育文化会議下伊那支部教育研究集会「高校現場における防災教育」, 長野県飯田工業高校, 2012年9月8日
- 瀬戸市自治連合会研修会「猿投北断層視察研修」, 愛知工業大学地域防災研究センター, 2012年9月12日
- 愛知工業大学中国四国地区別懇談会オープンフォーラム「本学は全国の大学で最初に緊急地震速報を導入しました」, ロイヤルホテル, 2012年9月15日
- 愛知工業大学オープンカレッジ, 地域防災研究センター講座「宇宙開闢から地球誕生まで」, 2012年10月13日, 「地球誕生から人間出現まで」, 2012年11月10日, 「想像を絶する地球規模の破壊と進化」, 2012年12月8日
- ITC名古屋クラブ第98期10月例会「東日本大震災の教訓を基に南海トラフ地震を考える」, 名古屋観光ホテル, 2012年10月15日
- 一般社団法人愛知県損害保険代理業協会豊橋・豊川2支部合同セミナー「東日本大震災の教訓と南海トラフ地震に備える」, ウェステージ豊橋, 2012年10月17日

- 浜名湖電装研修会「南海トラフ地震に向けての企業防災力向上対策～東日本大震災における企業が取った対策と浜電のBCP～」, 浜名湖電装会議室, 2012年10月19日
- 名古屋電気学園創立100周年・企業防災緊急セミナー「東南海地震(南海トラフ地震)の想定される規模と被害～東北地方太平洋沖地震から南海トラフ地震へ～」, 2012年11月16日, 2012年12月11日
- 瀬戸市防災講演会「南海トラフの巨大地震に備える」, 瀬戸蔵つばきホール, 2012年12月16日
- 平成24年度知多ブロック社会福祉協議会連絡協議会全体集会「南海トラフ巨大地震で知多半島はどうか～東日本大震災に学ぶ～」, 2013年1月12日

#### 【入倉孝次郎】

- Source model of generating strong ground motions during the 2011 Tohoku earthquake and a recipe of predicting ground motions for mega-thrust earthquake, Kojiro Irikura and Susumu Kurahashi, JSPS International Scientific Meeting on Megathrust Earthquakes., April 4-5, 2012, Tokyo
- 基調講演;『東日本大震災を教訓として、原子力施設のような重要構造物の耐震性はどのように確保すべきか?』日本機械学会「大震災を克服し持続可能な社会を築くために」, 明治会館, 2012年4月20日
- 「東日本大震災に学ぶこれからの日本の地震防災の方策」あいぼう会例会講演, 愛知工業大学(本山キャンパス) 2012年4月25日
- 「東日本大震災で何が起こったのか?—これからの日本の地震防災のあり方と考えよう—」海の星学寮講演, 京都タワーホテル, 2012年6月10日
- 基調講演:「地震動・津波による原発事故の検証—重大事故を2度と起こさないために、我々は何をすべきか?—」日本学術会議 連続シンポジウム 「巨大災害から生命と国土を護る—24学会からの発信—」 第6回「原発事故からエネルギー政策をどう建て直すか」, 日本学術会議講堂, 2012年7月24日
- ESC2012 European Seismological Commission, 33-rd General Assembly, "Short-Period Source Model of the 2011 Tohoku Earthquake and Recipe of Predicting Strong Ground Motions from Mega-Thrust Earthquakes" August 19- 24, Moscow, Russia
- KSEG International Symposium on "Geophysics for Discovery and Exploration", "What happened during the 11 March 2011 Tohoku, Japan Earthquake? - Tsunami Waves, Strong Ground Motions and Nuclear Power Plant Accident", September, 19-21, 2012, ICC, Jeju, Republic of Korea.
- 「活断層、地震動、原発の安全性」, 神奈川大学生涯学習・エクステンション講座「連続講演会 大規模災害と減災 Part2」, 神奈川大学横浜キャンパス 2012年10月6日
- 海溝型巨大地震の強震動予測レシピの考え方 — 2011年東北地震の短周期震源モデルに学ぶ—」日本地震学会秋季大会, 函館, 2012年10月18日
- パネルディスカッション「防災、減災を考える—東日本大震災から1年半」, 65回新聞週間「記念の集い」, 朝日生命ホール, 大阪 2012年10月20日
- 第40回地盤震動シンポジウム, 2011東北地方太平洋沖地震から何を学び、どう活かすか。—巨大地震に備えるための地盤震動研究—, 特別講演「今後の地盤震動研究へのメッセージ」「海溝型巨大地震の強震動予測のための震源モデルの構築」, 建築会館, 東京 2012年11月6日
- 「東日本大震災に学び、南海トラフ地震に対していかに備えるべきか、を考える」, 活断層学会 2012 秋季大会シンポジウム, 「近畿の活断層と大地震」, 黄檗プラザ, 宇治 活断層学会, 2012年11月17日
- 近畿建設協会南海トラフ地震防災講演会, 「南海トラフ巨大連動地震による被害想定を考える」, 大手前ホール, 大阪, 2012年11月26日

- 平成 24 年度地震研究所研究集会—地震動の即時予測と防災に向けた情報の活用, 「P 波震動波形から S 波最大動の波形を即時予測する方法」, 東京大学地震研究所, 2013 年 1 月 10 日～ 11 日
- 京都大学防災研究所—強震動評価とその活用に関する研究集会, 「2011 年東北地方太平洋 沖地震に学ぶ海溝型巨大地震の強震動予測レシピの考え方」, 京都大学防災研究所, 2013 年 3 月 25 日

#### 【岡田久志】

- 溶融亜鉛めっき高力ボルト技術者協会, 溶融亜鉛めっき高力ボルト技術者講習会, 1012 年 5 月
- 先端科学技術入門: 建物はどこまで高くできるか—高層化の技術—, 名電高校, 2012 年 6 月
- 鉄鋼連盟講習会「建築構造用鋼材とその利用技術」, 基調講演「高力ボルトはり継手を考える」, 2012 年 12 月

#### 【奥川雅之】

- 平成 24 年度先端科学技術入門「レスキューロボット: 人が行けない場所を調査するロボット」, 愛知工業大学名電高等学校, 2012 年 6 月 20 日
- 災害対応ロボットとサステナブル工学ワークショップ「減災・サステナブル工学創成に向けて」, 大阪工業大学, 2012 年 12 月 1 日
- 平成 24 年度大学間連携共同教育推進事業「近畿地区 7 高専連携による防災技能を有した技術者教育の構築」シンポジウム, 「災害発生時の移動手段を考える - 東日本大震災被害状況調査をもとに -」, 明石市立産業交流センター, 2013 年 3 月 2 日

#### 【小池則満】

- 土木学会出前講座「緊急地震速報で命をまもる」岐阜県立岐阜工業高校, 2013 年 2 月 25 日
- 巨大水災害シンポジウム in 愛知「事前・広域・避難の実現に向けて」, 名古屋都市センターまちづくりホール, 2012 年 12 月 13 日

#### 【森田匡俊】

- あいぼう会第 11 回防災セミナー「災害時の出勤・帰宅対策サポートプロジェクトについて」, 愛知工業大学本山キャンパス, 2013 年 1 月 25 日

#### 【廣内大助】

- 長野県の地形と活断層の現状 (大震災に学ぶ防災知識), 長野県カルチャーセンター, 2012 年 1 月 28 日
- 活断層大地震に備える (信州大学出前講座), 松本神林公民館, 2012 年 2 月 26 日
- 活断層大地震に備える (信州大学出前講座), 松本防火管理協会, 松本 M ウィング, 2012 年 3 月 16 日
- 活断層大地震に備える (信州大学出前講座), 長野三菱電機機器販売, 松本文化会館, 2012 年 6 月 22 日
- 美し国おこし・三重さきもり塾「地域防災総論 I」, 三重大学, 2012 年 6 月 23 日
- 活断層大地震に備える (信州大学出前講座), まほらいな市民大学, 伊那市生涯学習センターホール, 2012 年 7 月 5 日
- 長野県北部地震研究成果報告会, 信州大学山岳科学総合研究所, 栄村文化会館ホール, 2012 年 7 月 8 日
- 活断層大地震に備える (信州大学出前講座), 若槻団地公民館, 2012 年 10 月 20 日
- 阿寺断層とその痕跡「歴史に残る災害」, 坂下公民館, 中津川市民大学講座, 2012 年 10 月 25 日

- 阿寺断層を学ぼう「活断層といかに暮らすか」、福岡ふれあい文化センター，中津川市民大学講座，2012年10月26日
- 地図から災害を考える－防災地理教育講座－，教員免許状更新講習講師，信州大学，2012年11月3日
- 阿寺断層の歴史と将来一次に地震が起きるのは？，記念講演会，中津川市鉱物博物館，2012年11月11日
- 地震災害に備える～南海トラフの巨大地震とその被害予測～，市史を語る集い，名古屋市市政資料館，2012年12月1日
- 活断層とは何か（信州大学出前講座），立科町老人福祉センター，公民館生涯学習講座「立科すずらん学級」，2013年3月14日
- 活断層と変動地形学－変動地形から何がわかるのか（日本地すべり学会中部支部講演会），サンパルテ山王，2013年5月15日

## TV 出演他

### 【正木和明】

- 正木和明：「東北の被災地を訪れて」、サンキューラジオ、2012.3.14、11:00～11:40
- 正木和明：「防災訓練豊田会場と結んで生放送」、ひまわりネットワークテレビ、2012年9月2日、6:30～12:00
- 正木和明：「週刊地域ジャーナル。地震について」、ひまわりネットワークテレビ、2013年3月14日

## 各種委員

### 【正木和明】

- 愛知県東海・東南海・南海等地震被害予測調査ワーキンググループ委員
- 愛知県有識者懇談会委員
- 豊田市防災基本条例検討委員会副委員長
- 大府市防災助言者
- （一社）充填技術協会副理事長

### 【入倉孝次郎】

- 日本学術会議連携会員
- 文部科学省地震調査推進本部専門委員
- 文部科学省科学技術政策研究所科学技術動向研究センター専門調査員
- 文部科学省委託研究「東海・東南海・南海地震の連動性評価研究」運営委員会・研究推進委員会委員
- 内閣府南海トラフ巨大地震モデル検討会委員
- 独立行政法人海洋研究開発機構南海トラフ巨大地震連動性評価研究運営委員・研究推進委員
- 独立行政法人防災科学技術研究所「地震瞬時速報利用検討会」委員長
- 独立行政法人防災科学技術研究所強震観測事業推進連絡会議委員
- 独立行政法人原子力安全基盤機構試験研究等外部評価委員
- 独立行政法人原子力安全基盤機構安全研究評価委員会委員
- 独立行政法人防災科学技術研究所ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究に関する運営委員会委員
- 滋賀県地震被害想定調査検討委員会委員

- リアルタイム地震情報利用協議会強震動のデータのリアルタイム利活用及び超深層観測データの利活用ニーズに関する調査・研究推進委員会議長
- 社団法人日本地震学会 IASPEI 委員会委員
- 社団法人日本地震学会災害調査委員会委員
- 社団法人日本地震学会倫理委員会委員
- 社団法人日本地震学会代議員
- 財団法人地震予知総合研究振興会地震防災評価機構運営会議委員
- 財団法人地震予知総合研究振興会サイスマテクトニクス研究会委員
- 財団法人地域地盤環境研究所評議員

#### 【建部謙治】

- 日本インテリア学会東海支部長
- 愛知県防犯住宅コンテスト審査委員会委員

#### 【曾我部博之】

- 日本建築センター 電算プログラム審査委員会委員
- 愛知県建築住宅センター 耐震診断判定部会及び耐震改修評定部会委員
- 日本建築学会 情報システム技術本委員会委員

#### 【岡田久志】

- 日本建築学会・鉄骨工事運営委員会委員
- 愛知県建築構造技術連絡協議会・建築構造専門指揮者会委員
- 日本建築センター・電算プログラム審査委員会委員
- 鉄骨製作管理技術者管理機構・鉄骨製作管理技術者審査委員会委員
- 全国鉄骨評価機構・中部地区評価委員
- 溶融垂鉛めっき高力ボルト技術者協会・技術委員会委員

#### 【奥川雅之】

- 日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門技術委員会第3地区技術委員
- 計測自動制御学会システムインテグレーション部門レスキュー工学部会幹事
- 日本ロボット学会災害関係記録作成分科会委員
- レスキューロボットコンテスト実行委員会副実行委員長
- レスキューロボットコンテストシーズ実行委員会副実行委員長
- 日本機械学会機械力学・計測制御部門「スマート構造システムの将来技術と実用化に関する研究会（A-TS10-40）」主査
- 日本機械学会機械力学・計測制御部門「診断とメンテナンス技術研究会（A-TS10-39）」委員
- 日本機械学会「評価・診断に関するシンポジウム」実行委員
- 計測自動制御学会「システムインテグレーション部門講演会」プログラム委員
- 「ロボティクスシンポジウム」プログラム委員

- 岐阜高専・各務原市連携事業ツアーガイドロボット開発推進委員会「ツアーガイドロボット開発プロジェクト」委員
- TPIP ユーザーコミュニティ主査

#### 【小池則満】

- 東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会 作業部会ファシリテーター
- 土木学会 中部支部 幹事
- 名古屋市防災会議 地震対策専門委員会 災害に強いまちづくり分科会 委員
- 名古屋市防災まちづくり計画検討委員会 委員
- (社) 中部航空宇宙技術センター ヘリコプター活用研究会 委員

#### 【森田匡俊】

- 人文地理学会（広報委員）

#### 【廣内大助】

- 日本地理学会災害対応委員会委員
- 独立行政法人 産業技術総合研究所活断層・地震研究センター客員研究員
- 国土交通省国土地理院 活断層情報整備検討委員会委員
- 愛知工業大学地域防災研究センター 客員准教授
- 地球惑星科学連合教育問題検討委員会委員
- 長野県地理学会幹事
- 日本活断層学会行事委員会委員
- NPO 法人レスキューストックヤード有識者パートナー
- 国土交通省国土地理院治水地形判定委員会委員
- 新修豊田市史編さん執筆協力員（自然部会）
- 日本第四紀学会古地震ネオテクトニクス研究委員会委員
- 国土交通省中部地方整備局「東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議」防災拠点のネットワーク形成に向けた検討会委員
- 長野県実践的防災教育推進事業防災アドバイザー
- 北アルプス広域連合一般廃棄物処理施設建設予定地選定会議学識経験者委員
- 原子力規制委員会大飯発電所現地調査委員
- 第3次長野県地震被害想定策定検討委員会委員

#### 【阿部亮吾】

- 地震に強いものづくり地域の会（運営委員）
- 名古屋市港区多文化共生推進協議会（オブザーバー）



## 外部資金 獲得状況

### 【正木和明】

- 正木和明, 入倉孝次郎:「地域防災のための高精度強震動予測手法の開発」, 50万円, 科学研究費補助金基盤研究C, 2011年4月～2014年3月
- 森保広, 正木和明:「建物ごとに高精度に表示される地震ハザードマップの構築とその活用に関する研究」, 670万円(分担者金50万円), 科学研究費補助金基盤研究B, 2013年4月～2016年3月

### 【奥村哲夫】

- 奥村哲夫, 成田国朝, 木村勝行:「豪雨・洪水時の河川堤防の安全性確保に関する研究」, 400,000円, 科学研究費, 平成23年度～25年度

### 【奥川雅之】

- 土井智晴, 奥川雅之, 山内仁, 高森年, 大坪義一, 衣笠哲也:「ICT技術を用いた消防隊員遠隔支援用レスキューベストの開発」, 156万円(直接120万円, 間接36万円), 文科省科学技術研究費補助金「基盤研究(B)」, 2011年4月～2014年3月.
- 奥川雅之, 佐野泰之:「機械設備の異常検知を目指した無線センサネットワークによる維持管理システム」, 50万円, 中日本建設コンサルティング, 2012年6月～2013年3月.

### 【小池則満】

- 小池則満, 廣内大助, 倉橋奨:「クリアランスタイムのある災害における要援護者搬送計画策定手法の開発」 390万円, 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究C) 研究期間2012年4月～2015年3月
- 小池則満, 西村雄一郎:「巨大災害に備える広域避難計画策定のための空間的分析」, 998000円, (財)河川環境管理財団名古屋事務所調査研究事業, 2011年7月～2013年3月

### 【森田匡俊】

- 大西宏治, 森田匡俊:「湛水時間を考慮した洪水ハザードマップとそれを活用した災害図上訓練の開発」, 260,000円, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金「基盤研究(C)」, 2013年4月 - 2015年3月

### 【廣内大助】

- 研究代表者 今泉俊文(連携研究者:廣内大助):「変動地形マッピングに基づく伏在活断層・活褶曲と地震発生様式の解明」課題番号(21240074), 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(A), 平成21～25年度
- 研究代表者 大西宏治(共同研究者:廣内大助):「湛水時間を考慮した洪水ハザードマップとそれを活用した災害図上訓練の開発」課題番号(24501287), 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C), 平成24～26年度
- 研究代表者 小池則満(共同研究者:廣内大助):「クリアランスタイムのある災害における要援護者搬送計画策定手法の開発」課題番号(24590641), 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C), 平成24～26年度

- 研究代表者 廣内大助：「横ずれ共役活断層における連動型地震の再評価」課題番号 (25350426), 文部科学省 科学研究費補助金基盤研究 (C), 平成 25 年～ 27 年
- 研究代表者 田中敏 (共同研究者：廣内大助)：「教科間連携に基づいた共創型防災教育モデルの開発」, 文部科学省 科学研究費補助金基盤研究 (B), 平成 25 年～ 27 年
- 研究代表者 森保宏 (共同研究者：廣内大助)：「建物ごとに高精度に表示される地震ハザードマップの構築とその活用に関する研究」, 文部科学省 科学研究費補助金基盤研究 (B), 平成 25 年～ 27 年
- 研究代表者廣内大助：「映像資料から復元する大規模水害の空間分布とその特性分析」平成 24 年度 NHK アーカイブス学術利用トライアルⅡ (第一期)

#### 【阿部亮吾】

- 阿部亮吾「日本型多文化共生社会の構築と展望に関する実証的・理論的研究」, 30 万円 (H24 年度), 文部科学省科学研究費補助金 (若手研究 (B)), 2010 年 4 月～ 2014 年 3 月

### 著書

#### 【正木和明】

- 正木和明：「緊急地震速報と企業防災」, 建設工業調査会, ベース設計資料, Vol.154, 60-63, (2012.6)
- 正木和明：「防災の名古屋電気学園・愛知工業大学を目指して」, 月報私学, 171 号, pp.6-7(2012.3)

#### 【建部謙治】

- 建築計画学, 理工図書 (2013.3)

### 業績リスト

#### 論文 (審査付)

#### 【正木和明】

- Hao Wu, Kazuaki Masaki, Kojiro Irikura, Koichiro Saguchi, Susumu Kurahashi, Xin Wang:「Relationship between Building Damage Ratios and Ground Motion Characteristics during the 2011 Tohoku Earthquake」, J. of Natural Disaster Science, Vol.34, No.1, pp.59-78 (2012.10)
- 王欣, 正木和明, 入倉孝次郎：「常時微動記録を用いた被災建物の層間せん断波速度の測定」, 日本地震工学会論文集, 第 13 卷, 第 2 号, pp.22-36 (2013.3)

#### 【入倉孝次郎】

- 野津厚, 山田雅行, 長尾毅, 入倉孝次郎：「海溝型巨大地震における強震動パルスの生成とその生成域のスケーリング」, 日本地震工学会論文集, 第 12 卷, 第 4 号, 209-228 (2012)

#### 【奥村哲夫】

- T.Mizuno, M.Shimazaki, Y.Nakamura, Y.Ohne, K.Narita, T.Okumura, :「Performance of Highly Ductile Modified Asphalt for Use in Impervious Facing Zone」, International Congress on Large Dams 2012(ICOLD), pp.5.53—5.58 (2012.6)

#### 【奥川雅之】

- 奥川雅之, 岩熊孝幸, 寺西大:「ロボットの社会的役割を利用したロボット技術への動機付け教育」, 日本ロボット学会誌, Vol. 31, No. 2, pp. 169-174, (2013.3)

#### 【小池則満】

- 今井裕太郎, 小池則満, 西村雄一郎 (奈良女子大学):「巨大台風接近時における事前広域避難に関する意識調査」, 土木学会論文集 (F 6 安全問題), Vol. 68, No. 2, pp. 66-73, (2013.1)
- 小池則満:「我が国における大規模災害予測時の事前広域避難実現のための課題に関する検討～米国との比較検討を通じて～」, 都市計画論文集, Vol. 47-3, pp. 883-888 (2012.10)

#### 【森田匡俊】

- 森田匡俊, 奥貫圭一, 塩出志乃:「老年人口密度を考慮した高齢化率の空間的分布パターンの把握に関する研究」, 地理学評論, Vol. 85, pp. 608-617 (2012.11)

#### 【倉橋奨】

- Susumu Kurahashi and Kojiro Irikura:「Short-Period Source model of the 2011 Mw 9.0 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake」, Bull. Seism. Soc. Am. (in press)

#### 【廣内大助】

- 杉戸信彦, 松多信尚, 後藤秀昭, 熊原康博, 堀 和明, 廣内大助, 石黒聡士, 中田 高, 海津正倫, 渡辺満久, 鈴木康弘:「空中写真の実体視判読に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震の津波浸水域認定の根拠」, 自然災害科学, 31-2, 113-125 (2012.8.30)
- 谷口 薫, 杉戸信彦, 廣内大助, 澤 祥, 渡辺満久, 鈴木康弘:「糸魚川-静岡構造線活断層系中部, 茅野断層 (茅野市坂室) における変動地形の再検討」, 活断層研究, 37, 17-28 (2012.9)
- 松多信尚, 杉戸信彦, 後藤秀昭, 石黒聡士, 中田 高, 渡辺満久, 宇根 寛, 田村賢哉, 熊原康博, 堀 和明, 廣内大助, 海津正倫, 碓井照子, 鈴木康弘:「東北地方太平洋沖地震による津波被災マップの作成経緯と意義」, E-journal GEO, 7-2, 214-224 (2012)

#### 【阿部亮吾】

- 杉山和明, 阿部亮吾:「名古屋市における消費空間の意味変容—名古屋大都市圏の都市情報誌の傾向分析 (1984～2002年)—」, 都市地理学, 第7号, pp. 41-58 (2012.3)

### 論文 (研究報告集・紀要等)

#### 【建部謙治】

- 建部謙治, 田村和夫 (千葉工業大学), 高橋郁夫 (清水建設):「東日本大震災における茨城県内の企業の地震被害」, 愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書, vol. 8, pp. 21-24 (2012.7)
- 建部謙治, 田村和夫 (千葉工業大学), 高橋郁夫 (清水建設), 内藤克己 (清水建設), 木田健一 (清水建設):「東日本大震災における緊急地震速報の有効活用に関する調査」, 愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書, vol. 8, pp. 25-28 (2012.7)

- 建部謙治, 青木徹彦, 宮治眞 (名古屋市立大学病院), 天野寛 (愛知県医師会総合政策研究機構), 井出政芳 (愛知県厚生連足助病院): 「高齢者への地震動による心理学的・生理学的影響」, 愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書, vol.8, pp.53-56 (2012.7)
- 建部謙治, 田村和夫 (千葉工業大学), 高橋郁夫 (清水建設), 内藤克己 (清水建設), 木田健一 (清水建設) 小橋勉: 「中小企業を対象とした防災診断」, 愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書, vol.8, pp.57-60 (2012.7)

#### 【曾我部博之】

- 曾我部博之: 「PSO法を用いた弾塑性地震応答における降伏せん断力の最適化」, 第35回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集, pp.393-396 (2012.12)

#### 【岡田久志】

- 岡田久志: 「揺れやすい収納家具のロッキング・転倒挙動について」, 地域防災センター年次報告書 vol.8, p.71-76 (2012.7)
- 三井和也 (名古屋工業大学), 佐藤篤司 (名古屋工業大学), 岡田久志, 藤内繁明 (新日本製鉄), 小野徹郎 (椋山女学院大学): 「薄板軽量形鋼組立圧縮材の曲げ座屈応力度」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (東海) 構造Ⅲ, pp.739 - 730 (2012.9)
- 鳥居拓哉 (名古屋工業大学), 佐藤篤司 (名古屋工業大学), 岡田久志, 小野徹郎 (椋山女学院大学), 藤内繁明 (新日本製鉄), 西澤穂浪 (椋山女学院大学): 「薄板軽量形鋼ホールダウン金物の接合部耐力」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (東海) 構造Ⅲ, pp.1149 - 1150 (2012.9)
- 三井和也 (名古屋工業大学), 佐藤篤司 (名古屋工業大学), 岡田久志, 小野徹郎 (椋山女学院大学), 江口絢子 (椋山女学院大学): 「薄板軽量形鋼組立圧縮材の曲げ座屈耐力に関する研究 その2 綴り材剛比の影響」, 日本建築学会東海支部研究報告集, Vol.51, pp.213-216 (2013.2)
- 鳥居拓哉 (名古屋工業大学), 佐藤篤司 (名古屋工業大学), 小野徹郎 (椋山女学院大学), 岡田久志, 藤内繁明 (新日鉄住金): 「ドリルねじ接合による薄板鋼板一面せん断重ね継手のドリルねじ破断耐力」, 日本建築学会東海支部研究報告集, Vol.51, pp.217-220 (2013.2)
- 湯尾珠美 (椋山女学院大学), 小野哲郎 (椋山女学院大学), 岡田久志, 佐藤篤司 (名古屋工業大学): 「腰壁を有するスチールハウス耐力壁の力学的特性」, 日本建築学会東海支部研究報告集, Vol.51, pp.225-228 (2013.2)

#### 【奥川雅之】

- 奥川雅之: 「災害救助支援ロボットによるリモート環境計測システムの検討」, 愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書, Vol. 8, pp. 65-70 (2012.7)

#### その他 (報告書など)

##### 【正木和明】

- 正木和明: 「高校現場における防災教育」, 2012年度教文活動報告集, 長野県高等学校教育文化会議下伊那支部, pp.9-18 (2013.3)

#### 【入倉孝次郎】

- 入倉孝次郎：「巨大災害の軽減と災害につよいまちづくりに我々はどう取り組むべきか？」，学術の動向 特集◆東日本大震災を教訓とした巨大災害軽減と持続的社会的実現への道 August 2012,14-19 (2012)

#### 【岡田久志】

- 岡田久志（鉄骨工事運営委員会，JASS6 英語版作業委員会主査）：「Japanese Architectural Standard Specification JASS6 -Structural Steelwork Specification for Building Construction-」，日本建築学会(2012.10)

#### 【奥川雅之】

- 奥川雅之：「中部地方における災害と対応について」，東日本大震災関連委員会／災害関係記録作成分科会調査報告 (2012.9)

#### 【廣内大助】

- 廣内大助，松多信尚，杉戸信彦，竹下欣宏：「3月12日長野県北部の地震に伴う地変と栄村周辺地域の活断層」，長野県北部地震災害調査研究報告書（信州大学山岳科学総合研究所）(2012.1.27)
- 廣内大助，堀和明，丸山陽央：「平成23年9月の台風15号による名古屋市の浸水被害」，愛知工業大学地域防災研究センター年次報告書 vol.8(平成23年度)，P86-91 (2012.7.31)
- 吉岡敏和，廣内大助，杉戸信彦，細矢卓志，眞柄耕治：「阿寺断層帯，佐見断層および白川断層の古地震調査」，活断層，古地震研究報告，12，77-102 (2012.12.27)
- 信州大学震動調査グループ（代表者小坂共栄，共同研究者廣内大助ほか）：「「あっ，地震だ！」その時，どう揺れた？」，松本市地震動と地盤の相関に関する調査業務報告書 (2013.3.31)
- 宮内崇裕，池田安隆，平川一臣，廣内大助：「1:25000 都市圏活断層図「森岳」」，国土地理院技術資料D1-No.601 (2012.11)
- 廣内大助：「南海トラフの巨大地震とその被害予測」，新修名古屋市史だより 31，1-8.(2013.3)

### 学会発表・プロシーディングス

#### 【正木和明】

- X.Wang, K.Masaki, K. Irikura, S. Kurahashi：「Quantitative Damage Criteria of Severly-Damaged Masonry Building during the 2008 Wenchuan Earthquake Extracted from Microteremor Records」，15th World Conference on Earthquake Engineering, #3434, Lisbon, 24-28 Sept (2012.9)
- H. Wu, K. Masaki, K. Irikura, X. Wang：「Damage Ratios and Ground Motion Characteristics during the off the Pacific coast of Tohoku Earthquake」，15th World Conference on Earthquake Engineering, #4013, Lisbon, 24-28 Sept. (2012.9)
- Norimitus Koike, Kazuaki Masaki：「Evacuation drills with real-time earthquake information system on campus over past five years」，15th World Conference on Earthquake Engineering, #5694, Lisbon, 24-28 Sept (2012.9)
- 森田匡俊，正木和明，奥實圭一，落合鋭充，小林広幸，倉橋奨：「大規模災害発生時の大学キャンパスにおける帰宅困難者数の推計」，日本地理学会 2013 年春季学術大会，100095 (2013.3)
- 王欣，正木和明，入倉孝次郎：「常時微動記録を用いた被災9階建SRC造建物におけるせん断波速度の測定」，日本地球惑星科学連合 2012 大会予稿集，SSS26-13 (2012.5)

- 呉浩, 正木和明, 入倉孝次郎, 王欣, 倉橋奨:「東北地方太平洋沖地震における地震動と建物被害の関係」, 日本地球惑星科学連合 2012 大会予稿集, SSS26-12 (2012.5)
- 王欣, 正木和明, 入倉孝次郎:「常時微動観測により東北地方太平洋沖地震における被災集合住宅のせん断波伝搬速度の測定」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 (東海), pp.19-20, (2012.9)

#### 【奥村哲夫】

- 奥村哲夫, 木村勝行, 成田国朝:「河川堤防に作用する揚圧力に関する遠心模型実験」, 第 47 回地盤工学研究発表会 講演概要集, pp.931-932 (2012.7)
- 奥村哲夫, 木村勝行, 成田国朝, 田口直哉:「河川堤防の揚圧力対策に関する遠心模型実験」, 土木学会中部支部平成 24 年度研究発表会講演概要集, pp.221-222 (2013.3)
- 日比野広之, 鈴木森晶, 奥村哲夫:「波高抑制装置を設置した受水槽のスロッシング現象抑制に関する実験的研究」, 土木学会中部支部平成 24 年度研究発表会講演概要集, pp.63-64 (2013.3)

#### 【建部謙治】

- 高橋郁夫(清水建設), 建部謙治, 田村和夫(千葉工業大学), 内藤克己:「緊急地震速報の有効活用に関する研究」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 D-2, pp.1189-1190 (2012.9)
- 荒井大輔 (エス・バイ・エル), 建部謙治, 「公共空間における犯罪と落書きに関する研究」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1, pp.859-860 (2012.9)
- 野田美里, 武田美恵, 建部謙治:「小学校廊下の図書スペース化に関する研究」, 日本建築学会大会学術講演梗概集 E-1, pp.97-98 (2012.9)

#### 【奥川雅之】

- 長谷川慧, 奥川雅之:「Google Maps 活用による情報収集ロボットを用いた被災情報 GIS の動的生成」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 ROBOMECH2012 講演論文集 (DVD-ROM), 2A1-N06(2012.5)
- 鈴木壮一郎, 奥川雅之:「受動サブローラを有するクローラ型移動ロボットにおける角度拘束制御」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 ROBOMECH2012 講演論文集 (DVD-ROM), 2A1-N07(2012.5)
- 北川翔也, 奥川雅之, 小林義光:「ダルマ型移動ロボットにおける姿勢角推定と振動制御」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 ROBOMECH2012 講演論文集 (DVD-ROM), 2A1-F09 (2012.5)
- 北川翔也, 奥川雅之, 小林義光:「ダルマ型移動ロボットにおける姿勢角推定と振動制御」, 第 56 回システム制御情報学会研究発表講演会論文集 CD, pp. 307-308 (2012.5)
- 鈴木壮一郎, 奥川雅之:「受動サブローラを有するクローラ型ロボットの角度拘束制御」, 第 56 回システム制御情報学会研究発表講演会論文集 CD, pp. 451-452 (2012.5)
- 長谷川慧, 奥川雅之:「GoogleMaps 活用による情報収集ロボットを用いた被災情報 GIS の動的生成」, 第 56 回システム制御情報学会研究発表講演会論文集 CD, pp. 573-574 (2012.5)
- 加藤 悠記, 奥川 雅之:「ダルマ型移動ロボットにおけるカメラスタビライザーの設計」, 日本機械学会機械力学計測制御部門講演会 Dynamics and Design Conference 講演論文集 (CD-ROM), Paper-No. 317 (2012.9)
- 渥美辰哉, 奥川雅之:「スマートワッシャによるフラッタ発電の検討」, 日本機械学会機械力学計測制御部門講演会 Dynamics and Design Conference 講演論文集 (CD-ROM), Paper-No. 435 (2012.9)
- N. SAKAMOTO and M. OKUGAWA:「Human Tracking Control of Porter Robot With Velocity Vectors」, Proceedings of the 11th Motion and Vibration Conference, Paper No. 8728 (2012.10)

- S. KITAGAWA, M. KATO, M. OKUGAWA and Y. KOBAYASHI : 「Attitude Angle Estimation and Vibration Control of Mobile Robot with Self-Righting Mechanism」, Proceedings of the 11th Motion and Vibration Conference, Paper No. 8728 (2012.10)
- T. Aysumi and M. Okugawa : 「Feasibility study of Flutter Power Generation for Smart Washer」, Proceedings of the 23rd International Conference on Adaptive Structures and Technology, No. 38 (2012.10)
- 鈴木壯一郎, 長谷川慧, 奥川雅之 : 「受動サブクローラーを持つクローラー型ロボットの角度拘束条件の検討」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 671-676 (2012.12)
- 長谷川慧, 鈴木壯一郎, 奥川雅之 : 「受動サブクローラを有するレスキューロボットに対する遠隔操縦支援システムの検討」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 2415-2420, (2012.12)
- 土井 智晴, 奥川 雅之, 山内 仁, 宗澤 義臣, 高森 年, 大坪 義一, 衣笠 哲也 : 「ICT 技術を用いた消防隊員遠隔支援用レスキューベストの開発 第 2 報 : レスキューベストの機能とその評価」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 658-660 (2012.12)
- 松原 秀彦, 向井 裕貴, 浅井 友将, 勝 玄毅, 奥川 雅之 : 「マスタースレーブシステムとトリアージ対応の紹介」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 833-838 (2012.12)
- 寺西 大, 岩熊 孝幸, 福祉科学研究会, 科学部, 土井 智晴, 奥川 雅之, レスコンシーズ実行委員会 (レスコンシーズ実行委) : 「レスキューロボットコンテスト・シーズジャンボリー 2012 in KOBE の実施報告」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 848-850 (2012.12)
- 土井 智晴, 奥川 雅之, 宗澤 良臣, 山内 仁, レスキューロボットコンテスト実行委員会 : 「第 12 回レスキューロボットコンテストのまとめ」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 878-880 (2012.12)
- 三輪 昌史, 二井見 博文, 奥川 雅之, レスキューロボットコンテスト実行委員会 : 「第 12 回レスキューロボットコンテストにおける無線 LAN および無線通信システムの管制」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 885-888 (2012.12)
- 大道 拓磨, 奥川 雅之 : 「災害時避難行動支援ロボットを用いた災害時要援護者向情報伝達方法の検討」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 1069-1074 (2012.12)
- 加藤 悠記, 奥川 雅之 : 「ダルマ型移動ロボットにおけるカメラスタビライザーの設計」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 848-850, 2012.12
- 小林 義光, 小木曾 里樹, 片山 雄二, 奥川 雅之 : 「遠隔操作 IP システムを用いた制御実験の環境構築について」, 第 13 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012) 論文集 DVD-ROM, pp. 2388-2393 (2012.12)

#### 【小池則満】

- N.Koike, K.Masaki : "Evacuation drills with real-time earthquake information system on campus over the past five years", Proceedings of WCEE2012,5694,(2012.9)

- 今井 裕太郎, 小池則満:「巨大台風接近時の家族属性に着目した事前広域避難計画策定に関する一考察」,平成24年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 ,pp309-310,(2013.3)
- 小池則満:「大学生の消防団に対する認知度と参加意欲に関する調査」,地域安全学会梗概集 ,No.30,pp.91-92(2012.6)

#### 【山本義幸】

- Yoshiyuki Yamamoto:「An accuracy performance of the multiple GNSS constellation」,平成24年度土木学会全国大会第67回年次学術講演会論文集 (2012.9)
- Y.Yamamoto,T.Asaka,S.Aoyama,K.Iwashita,K.Kudou:「Detection of damaged buildings using GeoEye-1 imagery and airborne lidar data: A case study on the 2011 Tohoku earthquake」,SPIE Asia-Pacific Remote Sensing 2012 (2012.10)
- 朝香智仁, 工藤勝輝, 岩下圭之, 青山定敬, 山本義幸:「海浜変形を評価するための L-band SAR 解析手法の一考察」,日本リモートセンシング学会第53回学術講演会論文集 (2012.11)
- Yoshiyuki Yamamoto, Eiji Nakamura, Masayuki Okkugawa, Tomohito Asaka, Keishi Iwashita:「Monitoring of cracks in asphalt pavement using laser scanners and cameras of mobile mapping system」, ASPRS ANNUAL CONFERENCE 2013(2013.4)

#### 【森田匡俊】

- 鈴木克哉, 森田匡俊, 奥貫圭一:「直線距離と道路距離との関係に関する実証的研究」,日本地理学会2013年度春期学術大会発表要旨集, Vol.83, pp252 (2013年.3月)
- 森田匡俊, 正木和明, 奥貫圭一, 落合鋭充, 小林広幸, 倉橋 奨:「大規模災害発生時の大学キャンパスにおける帰宅困難者数の推計」,日本地理学会2013年度春期学術大会発表要旨集, Vol.83, pp290 (2013.3)

#### 【廣内大助】

- 廣内大助, 石山達也, 鈴木毅彦, 今泉俊文, 佐藤善輝, 丸山陽央, 細矢卓志, 橋本智雄:「ボーリング調査による高田平野東縁断層帯の上下平均変位速度」,日本地球惑星科学連合2012年大会(幕張メッセ)(2012.5.23)
- 吉岡敏和, 廣内大助, 杉戸信彦, 細矢卓志, 眞柄耕治:「阿寺断層系, 佐見断層および白川断層の活動履歴」,日本地球惑星科学連合2012年大会(幕張メッセ)(2012.5.22)

#### 【倉橋奨】

- 倉橋奨, 入倉孝次郎:「断層破壊域の広がりを考慮した緊急地震速報の高度化」,日本地球惑星科学連合2012年大会,(査読:無)SSS40-P01,千葉県千葉市(2012.5)
- Susumu Kurahashi and Kojiro Irikura:「Estimation of extended source area from vertical PGA saturation during a great earthquake for upgrading the EEW system」,15th World Conference on Earthquake Engineering,(査読:無),Lisbon Portugal(2012.9)
- 倉橋奨, 入倉孝次郎:「断層破壊の広がりを考慮した緊急地震速報の高度化」,日本地震学会2012年秋季大会講演予稿集,(査読:無)P3-44,北海道函館市(2012.10)



【阿部亮吾】

- 阿部亮吾：「フィリピン系移民女性の移住と組織化ー日・豪の調査を通じてー」，2013年日本地理学会春季学術大会，第4回「ジェンダーと空間／場所」研究グループ（2012.3.30）